

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	都市型ホテル（支配人）	・東京オリンピックに向けて、希望的観測も含め良くなる。新型コロナウイルスのワクチン接種は始まるが、現状のまま変異ウイルス感染者が増加するのとか等、今後どのようになっていくのかは依然として不透明である。
	○	百貨店（店長）	・現時点でも改善の兆しがみられる状況にあり、今後、新型コロナウイルスの感染状況が低下傾向に転じれば、景気自体は良くなると考える。
	○	コンビニ（店長）	・今月が悪過ぎたので、やや良くなる。
	○	コンビニ（店長）	・気温も上がって暖かくなってくるので、客は増える。
	○	家電量販店（店長）	・3か月予報により、夏物商材の売上が伸びそうである。
	○	通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言による休業や人流抑制から、現状では来客数減少がみられる。3か月後に宣言が解除されていれば回復は見込める。
	○	ゴルフ場（総務担当）	・新型コロナウイルス禍で、旅行に行きにくくなっており、その分、ゴルフ場に客が流れてきているようである。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・ゴールデンウィークもほとんど駄目だろう。新型コロナウイルスのワクチンがほぼ全員に行き渡るようになれば、皆安心して外に出られる状態になるだろうが、それでも平常に戻るだけである。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・これ以上悪い状況はないものの、良くなる材料もないので、変わらない。当店は北関東の観光地にあるため、ゴールデンウィーク直前の、東京都への緊急事態宣言発出で、沈痛な雰囲気は街全体を覆っている。また、新型コロナウイルスの変異ウイルスの流行やワクチン接種の遅延、東京オリンピック等、先が見通せないため、前月より一層重苦しい雰囲気が感じられる。
	□	一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルスの状況次第、ただそれだけである。
	□	百貨店（営業担当）	・当県は対象外であるが、4都府県に緊急事態宣言が再発出されたことにより、自粛ムードが強まることが予想される。景況回復には時間を要するものと思われる。
	□	百貨店（営業担当）	・4都府県に緊急事態宣言が再発出され、当県でも緊張が高まっている。食品を中心に生活必需品の購入が目立ち、フロア内の来客数から衣料品等への関心の低さを感じ取れる。
	□	スーパー（商品部担当）	・現状より良くなる要因がなく、変わらない。
	□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが収束してイベント等が増えれば良くなるが、感染拡大の第4波が収まらず悪化すればイベント等は中止され悪くなるので、どちらとも言えない。
	□	コンビニ（経営者）	・Withコロナで仕事もできるようになったが、新型コロナウイルス変異株の増加で、不安がまた増えてきている。景気の落ち込みが心配されるものの、ワクチン接種効果も期待できるので、これより落ち込むことは少なくなるのではないかと。
	□	衣料品専門店（統括）	・新年度を迎え、本来なら「今年の祭りは」という声をたくさん聞く頃だが、今年は「今年は祭りがあるのか」という心配の声が周りから聞こえてくる。何とか祭りができるような状態になってくれればよいと思っている。特に、当店は祭礼関係の商売なので、心配である。
□	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルス禍が続いている限り、巣籠り需要は続くと予想している。消費できる業種に限られており、業態も大きく影響している。	
□	家電量販店（営業担当）	・前年は新型コロナウイルス禍で、販売実績は全体的に好調に推移していたため、各カテゴリーに影響がある。特に、調理家電、パソコン関連、消耗品、ゲーム機関連が前年比80%と苦戦している。今後、東京オリンピックの映像関連に期待したい。	
□	乗用車販売店（販売担当）	・変わらないと回答したが、良くなる要素が1つもないという意味である。4月は下旬に入ってから悪くなっている。	

□	乗用車販売店（販売担当）	・全てを新型コロナウイルスのせいにするわけではないが、このウイルスが落ち着かない限り、観光地には観光客が来ない。観光客が戻らないことには、ホテル、ドライブイン関係は現状の悪いままであり、景気が上向かない。ワクチンが届いて、落ち着くまでは駄目だと思う。
□	自動車備品販売店（経営者）	・ここ数か月間で、来客数や販売量は、かなり良いところまで戻ってきている。ここに来て、新型コロナウイルスの感染が再拡大して、心理的にマイナスに働いている。また、今後も新型コロナウイルスの影響で、売上は余り伸びないことが危惧される。
□	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっているが、変異ウイルスが流行しているため、すぐには状況は変わらない。
□	住関連専門店（仕入担当）	・新型コロナウイルス禍での生活が1年以上になり、感染拡大の波が一進一退となることにも慣れがみられる。個人消費の減退は継続し、その突破口はワクチン接種率の上昇しかない。それまでは、今の不透明な曖昧模倣とした状況が継続する。
□	一般レストラン（経営者）	・劇的に新型コロナウイルスの感染が収まるか、ワクチン接種が進まない限り、いつまでたっても感染者数に左右され続ける。ただし、若い世代を中心にそれなりに動きはあるので、感染対策をしっかりして客を受け入れたい。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言の再発出が決まり、宴会や会議の直近のキャンセルが増えている。レストランのランチ営業も、前月に比べ平均して1日当たり5人減となっている。宿泊も県内独自キャンペーンが一時中止となり、予約の増加が鈍くなっている。ゴールデンウィーク明けに緊急事態宣言が解除される保証もなく、見通しは暗い。
□	都市型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない。ワクチン接種が全体的に行き渡るまで、感染者数が減少することは余り考えられない。余り良いことではないが、3か月後もほぼ現状と変わらないと考えている。
□	都市型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルスの感染者数が落ち着くまでは、今のよう状況が繰り返されて、売上や来客数等も不安定な状態がしばらく続くのではないかと。
□	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息時期が見えないので、旅行需要が回復するとは思えない。
□	旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大が、現段階では一番の特効薬だと思うが、今一つ順調に進むのかが見えてこない。せいぜい現状どおりかと考える。
□	旅行代理店（従業員）	・現状のまま回復しない。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスワクチン接種で終息しない限り、戻らないと思う。
□	タクシー（経営者）	・全体的に人の動きが良くないので、この先も良くないとみている。
□	通信会社（総務担当）	・例年6～7月は、販売に山も谷もなく、東京オリンピックも影響しないため、変わらない。
□	通信会社（局長）	・良くなる要素は見当たらない。
□	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種の進捗状況を鑑みて、観光や飲食、サービス業の低迷は続きそうである。景気回復にはもう少し時間が掛かる。
□	設計事務所（所長）	・3度目の緊急事態宣言が発出された地域もあり、新型コロナウイルスの感染拡大が予想されている。ワクチン接種が一通り終わるまでは、景気上昇は余りないのではないかと。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチン接種の本格化に対する不透明感が拭えないので、当分の間、厳しい状況が続く。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・巣籠り状態で売れているところもあるみたいだが、地方に来れば来るほど、不景気の打撃はかなり大きくなっている。
▲	スーパー（総務担当）	・緊急事態宣言が発出され、人の流れが減るため、やや悪くなる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・前月に引き続き、半導体不足により当地域の自動車メーカーは、国内外の拠点の一時的な生産停止や納期遅れを余儀なくされている。その上、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の再発出で、先行きが分からない。

	▲	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・この2～3日の新型コロナウイルス関連の報道が、相当ダメージを与えそうである。また、感染状況や問屋の在庫状況をみると、売っていきたい商材が少なくなっているのが現状である。客や仕入先メーカーの状況が回復してくるのを待つだけだが、シナリオが描きづらい。新型コロナウイルス対策のスピードアップがキーポイントになる。
	▲	一般レストラン（経営者）	・来客数が激減する可能性があるのも、非常に悪い状況になるのではないかと。
	▲	一般レストラン（経営者）	・3度目の緊急事態宣言が発出されて、予測はできないものの良くなるはずはない、とだけは言える。
	▲	スナック（経営者）	・店にカラオケ設備があるが、店側にも客側にもカラオケをすることに対する危機感がある。今はなるべく設備を使わないように営業しているが、やはり今までカラオケをメインにやっていたので、今後はもっと難しい状況になるのではないかと考えている。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や、東京オリンピック・パラリンピックの開催見通し等にもよるが、当面は感染者数の増加が重しとなり、やや悪くなる。特に、レストラン、通所型の介護サービス、研修受託施設等での食事提供数が大きく下振れし、戻るのには時間を要するとみている。
	▲	通信会社（経営者）	・原油高、円安の影響が、じわじわと出てきている。今はとにかく1日でも早く全国民に新型コロナウイルスのワクチン接種ができるよう全力を注ぐのが、景気回復の近道でないか。業績は通期で売上は2割ほど落ちているが、上期の原油安で、利益は落ちていない。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株の感染拡大が当県でも増大傾向にあり、人々の動きが止められつつある。今後、車の運行も減るだろう。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・緊急事態宣言は長引きそうなので、状況が悪くなる要因が多い。
	×	コンビニ（経営者）	・夜の時間帯に客が来ないので困ったものである。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が完了しない限り、恐らく今の状況がずっと続くだろう。そうなれば安心感を持って客が街に出てくるということがない。先行きについては、こういうふうにしたらきちんと安全な環境を確保できるとか、具体的な表現がもっと欲しい、というのが実感である。
	×	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、販売減少が続いているなか、感染拡大により業務用の使用量が大きく減少してきており、受注残も減少している。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・現状のままでは、回復要素が皆無である。
	×	観光型ホテル（経営者）	・現在までの政府の対応で、新型コロナウイルスの感染拡大を早期に収束できるとは思えない。海外から流入してくるウイルスへの水際対策の失敗、国民や多くの企業に対する自粛要請施策の脆弱さ、医療体制不構築による国民の不安等、この新型コロナウイルス禍にもっと政府が責任を伴い、強くリーダーシップを取るべきである。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の第4波、変異ウイルス、度重なる飲食店への自粛要請等、客が戻ってくる要素が1つもない。
	×	タクシー（役員）	・国の無駄な政策のため、悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・日本全体もそうだが、地方に新型コロナウイルスのワクチンが回ってくるのは来年以降だと思う。それまでは下降の一途をたどるだろう。
	×	テーマパーク（職員）	・首都圏を中心とした外出自粛や県境越えの自粛等、観光業に直結する行動が抑止され、新型コロナウイルスワクチン等が拡充されなければ、一時的な来園者の増加はあっても、良くなる状況には、まだしばらくたどり着かない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンは、作るにしろ接種にしろ日本の潜在経済成長率の低さを見せつけられている。先行者優位の欧米に遅れて、日本に反撃の術はあるのか疑問である。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス禍の影響で、1年以上止まっていた航空関連や鉄道関連の仕事が再開する予定である。また、自動車、建設機械、ロボット等の仕事も減産情報はない。

	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先、競争相手の様子、受注量、販売量等、いずれも、この2か月は大分良くなってきている。
	□	化学工業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がないとは言えず、先が見えない不透明な状況は続くが、何とか現状を維持したい。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・現状維持できている。
	□	金属製品製造業（経営者）	・将来のことはよく分からない。3～4月は仕事が忙しかったが、内容は急ぎの仕事である。5月がどうなるかは全然分からない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・知り合いの会社でも部材がなく、4月29日～5月9日まで大型連休を取るそうである。こうなってくると経済がどんどん回らなくなって、挙げ句の果てに消費者に物が届かなくなる可能性がある。非常に憂慮している。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・基本的には新型コロナウイルスの状況及びその推移によるので変わらない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、まだ残ると考える。
	□	建設業（開発担当）	・今期の公共工事は前年比14.6%増で、当社受注も前期比10%増である。これは、一昨年大雨による河川氾濫災害の復旧工事に起因しているため、喜ばしい増加ではなく、災害に遭われた方には申し訳ない気持ちである。建設業は長らくの不況業種だが、日本では自然災害が度々発生するので、大事な業種だと自負している。従業員の高齢化問題などいろいろあるが、使命感を持って頑張っていきたい。
	□	輸送業（営業担当）	・夏物家電、エアコン、扇風機等の物量も増える予定である。また、東京オリンピック需要もあり、大型テレビ、BDレコーダー等の高額商材の動きも増えそうである。しかし、現状の新型コロナウイルスの改善次第で、先行きの不透明なところもあり、若干心配である。
	□	司法書士	・周囲を見ていても、それほどは良くなれないと思うので、現状のまま動いていくのではないかと。
	□	社会保険労務士	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるだろうが、東京オリンピックの延期や中止等で、混乱してそうである。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数、受注量、いずれも特段変化は見られない。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・5～6月の受注は非常に悪そうで、7月については不明である。
	▲	建設業（総務担当）	・年度初めからの動きがすこぶる悪く、改善するとも思えない。
	▲	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束する気がしない。
	×	不動産業（管理担当）	・当社で管理しているビルのテナントも、物件費削減のため退去が増えてきている。先行きが見通せず、飲食や宿泊施設の取引先を中心に、かなり疲弊している。今後の取引内容も削減検討依頼を受けているため、良い材料がない。
	×	経営コンサルタント	・ゴールデンウィーク間近に、3回目の緊急事態宣言が発出され、地域経済は甚だしく活力を失っていく。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルス禍で、かなり行動に規制があるものの、やはり我慢しきれなくなって、ゴールデンウィークから大分、購買力が上がるのではないかと。また、行楽地への移動も増えていくと思われるので、全般的な個人消費は伸びていく。工場関係はストップしているので、梅雨前に向けての準備として、生産の検討等をして、やや良くなるとみている。
	○	人材派遣会社（管理担当）	・コンビニの麺類製造が増産計画のため、やや良くなる。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	・先日、動物（ペット）関連のイベントがあったが、大変なにぎわいであった。新型コロナウイルス疲れの反動もあり、上向きを感じる。
	□	人材派遣会社（社員）	・募集職種には偏りがある。IT系の依頼は安定しているが、事務系は既存社員の業務集約で対応するケースが増えてきており、派遣ニーズは退職者の補充が多く、新規増員は少ない。

□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスが雇用に与える影響を、より一層注視していく必要がある。
▲	人材派遣会社（経営者）	・3か月先は、良い話が入っていないので悪くなる。
▲	職業安定所（職員）	・4都府県への緊急事態宣言再発出等もあり、観光関連業種で業績の不安が出ており、特に、ゴールデンウィーク中の業績の影響が心配されている。
×	*	*